えんちょう先生のわくわくだより

NO，8　H28．6．20

6／15日　久枝先生のお話会
先生のこどもの頃の生活や遊びはね・・・







久枝先生のイラストを見ながら、
真剣に話を聞くこども達です。

外での体操が終わって、今日はうさぎ組の久枝先生のお話を聞く日です。
今日は、遊戯室のず～と後ろに下がってステージ側を広く座ったみんなだったね。
「先生が子どもだった頃はね、バローやコンビニは一つもなかったんだよ。自転車に乗った紙芝居やさん屋キャンデー屋さんが来てね、みんな１０円持って買いにいったんだよ。」・・そこへ、桶を担いで「きんぎょ～え～きんぎょ～」と言いながら現れたのは金魚売のおじさん役の度会生。「おじさーん、きんぎょ下さい」「はいはい、ちょっと待ってね、ビニール袋に水と金魚が入ります。夜にはね、今みたいにクーラーが無いから、家の中に蚊帳を吊ってねたんだよ。人間の入る虫かごだね。
その中に、捕まえた蛍を飛ばして、チカッ　チカッと光る蛍を見ながら、みんなで寝ると楽しかったに。
昔は、テレビもゲームも、今みたいに沢山の本もなかったからね、近所の友達がみんな集まって、いろんな遊びをしたんだよ。川に行ってメダカを捕るときは、タモだと逃げちゃうから、こんな日本手ぬぐいですくったんだに。その他に、馬とび．パンパン．ゴムとび．ビー玉あそび．自転車屋さんに行って、ゴムの取れた輪っぱをもらって来て、竹の棒で回して走って、誰が上手に回せるかの競争もしたんだよ。外の田んぼでは、おたまじゃくしをすくったり、アメンボウやカエルやげんごろう．タガメも捕まえたよ。おなかを上にして泳ぐまつも虫なんていうのもいたよ。みんなでいると、楽しい事がいっぱい出来て、けんかもよくしたけど、毎日、とっても楽しかったんだよ。大きい子から小さい子までみんな一緒だから、大きい子は小さい子に遊び方や、魚の捕り方や木の登り方など教えてあげました。昔は、体を動かして、自分達で、どうやったら、怪我をしない様に上手に遊べるかを勉強してきたんだね。・・・こんな話の後で、遊びの一つ一つを、先生達が子ども役になってやってみました。
咲先生のバクテンをしながらのゴムとびや、杉本先生の輪回しの上手さにみんなから拍手が沸きました。「みんなも、子どもの今、体をうんと動かして遊びましょう」と久枝先生のお話は終わりました。
久枝先生の書いた上手なイラストを見せてもらい、その遊びを先生達がやってみせたので、みんなもやりたくなって、今、色水つくりや虫取りや輪回しも始まりました。日本の遊びは、子どもの成長の為の理に適った遊びがほとんどです。若い先生達も「知らない事ばっかりだった」と言います
インターネットからは、いろんな情報が流れ、「早く早く」とこどもをせき立て、「早く出来る！」が良い事、大人の扱いやすい子が良い子と思いがちだけれど、こどもは子ども時代をじっくりゆっくり味わいながら、大きくなる道筋が大事なんです。遊びがこどもを育てる！私達職員にも、今後の保育のあり方を考えていく場となりました。２歳．１歳の子も上手に見ていたね。こどもはこんな風に、真剣に語りかけて貰うお話が大好きなんです。「みんなも元気に、いっぱい遊ぼう！」と話しました。



蚊帳の中で、みんなでワイワイ
夏の夜の楽しみでした











川や田んぼは、魚や虫がいっぱいで、楽しくてワクワク





輪っぱ回しに悪戦苦闘の先生達でした